

汚水処理施設の最適化と広域連携の推進に向けた検討会

第3回 議事要旨

日 時：令和8年7月30日(木) 14:00～16:00

場 所：TKP 東京駅カンファレンスセンター 10A(web 併用)

要 旨

1. 開会挨拶

＜近畿大学 浦上拓也委員長より挨拶＞

令和8年熊本地震で被災された方々へお見舞いを申し上げますとともに支援に携わる方々への敬意を表する。災害への備えと上下水道ライフラインの重要性を改めて認識した。今回は3回目の検討会として、これまで共有された各事業体の状況や課題を踏まえ、汚水処理施設の最適化に関するガイドラインの具体的な検討を進めたい。委員の皆様には各事業体の知見や現場の実情に基づき、忌憚のないご意見を頂きたい。

2. 議事

(1) 汚水処理施設の最適化について

(2) その他

- 浄化槽転換を検討するため、自治体内部の下水道部局と浄化槽を担当する環境衛生部局との間であらかじめよく連携することを盛り込んでいただきたい。
- 未普及地域について、地元調整等により事業着手が遅くなり整備途上のエリアもある。見直しを進めるにあたっては、市街化区域で下水道整備が前提ではないことを示すとともに、下水道整備の基本的考え方の4つの視点（人口減少、整備効果、まちづくり、事業運営の持続性）について、(変える判断をしやすいよう)より踏み込んで具体的に考え方等をガイドラインに記載してほしい。
- 真に下水道を整備するエリアについて、都道府県構想では、家屋間距離の費用比較で決めていたが、今回の案では4つの視点により浄化槽転換を検討することとなっている。実際に転換される区域のイメージを示してほしい。
- 複数財源の組合せについては、長期的な見通しを考えると、使用料は見込みやすいが、国費支援は不確定な部分が多いため、国費支援をどう見込んでいくのか考え方等を示してもらえるとよい。
- 浄化槽転換について、官民連携の公設民営で維持管理を行っているような事例があれば参考になるので示してほしい。
- 汚水処理施設の最適化に関する検討について、都道府県と市町村における具体的な進め方について明示して頂きたい
- 資料9ページのフローはあくまでも下水道から浄化槽への転換のことであり農業集落排水を同一に扱うことはできず、別途、農業集落排水でも再編計画の手引きを作っているので、ガイドラインにするときにはよく調整を図ってほしい。
- 下水道と浄化槽は同様の汚水処理が可能な施設であることを、しっかりと住民に示していくことが合意形成につながる。また、シームレスに汚水処理を継続するために、浄化槽を設置してからでないと実際の転換ができないため、これらを記載してほしい。

- 第4回検討会に向けて、2つの論点である広域連携の推進と汚水処理施設の最適化との関係性を整理していただきたい。

委員長まとめ

汚水処理施設の最適化に関するガイドラインの方向性は、委員の皆様のご了承いただいた。第4回検討会では、汚水処理施設の最適化に関するガイドラインと広域連携の推進に関するガイドラインの素案を議論いただく予定であり、早めに素案を共有いただき、有意義な議論ができるようご協力いただきたい。